



なした〜？

教育長のつぶやき

No.81

2024, 9/27

義務教育学校の柱=『自学共育』に決定！

昨夜の「みんなで学校を創ろう！」②は中学校が文化祭直前であったり、保育園が運動会の練習が始まっていることなどもあり、参加者は少なめの15名でしたが、2班に分かれ活発なWSが開催されたことに安堵しています。

栄村義務教育学校設立方針や、学校目標では、かなり白熱した意見が交わされました。

- ・「創」や「SOU」では何の事か内容が見えない。
- ・言葉の解説の方を目標にした方が分かりやすいのではないか。
- ・「自学共育」が濃すぎて、これ以上のものは出てこない。
- ・「自学共育」（自ら学び共に育つ）でいいのでは？
- ・学校目標は手段であり方法を取りながら目的にたどり着くので、目標ではないのでは。
- ・一文字より文章があった方がいい。
- ・全て創り上げていくとなると全てという言葉が重い。
みんなでとか一緒にとかならよいと思う。
- ・どういう時に子どもと目標を見返すかという、節目節目の時。
その時に学校目標に近づいたね、という感じ。
キーワードになる簡単なものだとありがたい。
- ・みんなで創り上げることも大切だが、一人ひとりが自分を創る事も大切。
- ・一つにまとめ、「自学共育」のみでいいのでは。



というご意見をいただきました。時間が迫ってくるにつれ、話し合いの柱である「自学共育」に決めるときに感じた参加者の疲れた感じと、もう出す意見がない、うまくまとめて感が次第ににじみ出てきました。次回に回すには次の手立てもないと判断し、参加者の意見から、次のように提案しました。

学校目標や設立方針ということばでお題目が来てしまうとそれに惑わされ、手段であるとか目標、目的に合致しているかという判断になってしまう。学校には学校目標や学校教育目標が当然あり、それを創らなければいけないと考えて今日は話し合いをしてもらったが、目標ではなく、今まで通りの「柱」であれば異論はないと思うので、目標とかではなく今まで通り、新しくできる**義務教育学校の「柱」=「自学共育」**として位置づけたいと思うがいかがか、と提案したところ皆さん同意してくださり、反対意見は出なかった。

今回がWSを行う上で最後の大きな山と踏んでいたが、やはり話し合いは参加者の意見を聞いてどれも納得できる理由があるものの、最終的にはどうしたらよいか、決めあぐねていたというのが本音かもしれない。

日常で大切にしたい言葉の違いだが、その言葉の違いに余り敏感になりすぎてしまうと、何をしたかったのか、何を目指そうとしているのか見えなくなる部分があるという事を今回も教えてもらった感じがする。また今まで使っていた言葉は、馴染みや納得感があるため、そのまま使うことが一番であることも理解できた。

私としては、「自学共育」を2年数か月前に提案した時に、本当にこれで良いのか？これが芯となって、困ったり、最初の願いからずれてきたりした時に参加者の意見を元に戻すことができるだけの言葉になるだろうかという不安もあったが、この2年間の間に、参加者の意識の中にこの言葉が常にあり、重くしかも太くしっかり位置づいて来ていることを感じられる時間にもなり、嬉しく感じた。

